

## インフルエンザ(2026年第5週)疫学情報 《コメント》

2026年第5週の定点当たり報告数は30.03(患者報告数114,291)となり、前週の定点当たり報告数16.64よりも増加した。都道府県別では大分県(52.48)、鹿児島県(49.60)、宮城県(49.02)、山梨県(46.97)、千葉県(46.08)、静岡県(43.29)、三重県(41.10)、埼玉県(40.68)、宮崎県(40.07)、愛知県(38.75)、栃木県(38.06)、茨城県(37.45)、兵庫県(36.77)、神奈川県(36.56)、愛媛県(35.35)の順となった。全国47都道府県すべてで前週の報告数よりも増加した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は708例であり、前週(647例)から増加した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(34例)、1~4歳(94例)、5~9歳(143例)、10代(93例)、20代(20例)、30代(23例)、40代(17例)、50代(19例)、60代(38例)、70代(71例)、80歳以上(156例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2026年第1週～2026年第5週)では、AH3亜型が109件(56%)、B型が87件(44%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。